

3 A案

教材名：大商人の決断

主題名：勇気を持って行う

内容項目：A (5) 希望と勇気、
努力と強い意志

- 1 **ねらい** 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志を持ち、勇気を持って粘り強くやり抜こうとする態度を養う。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ **勇気のある人とはどのような人が話し合う。**

- ① 勇気のある人というのはどんな人のことでしょうか。

- ・ジェットコースターなどに乗れる人
- ・危険なことでも平気でする人
- ・ダメなことをダメと言える人

◇ **教材を読んで話し合う。（教材を読む前に映像資料を視聴する。）**

- ② 藩から船と船頭をゆずるように伝えられたとき、五兵衛は錢屋代々の教え『物事が正しいかどうかは勇気を持って決めよ』を頭にうかべました。はっきりと返事をする前、五兵衛はどんなことを考えたでしょうか。

ゆずれない

- ・今までになかったことだ・・・、うまくいくのか、失敗したら困る
- ・こんなことをしたら、自分の店はつぶれてしまうかもしれない

ゆずる

- ・借金で困っている藩が助かる
- ・加賀の人々を救うことにつながる
- ・藩や加賀の人々を助けになることが、正しいことだ
- ・船と船頭をゆずっても、商売を成功してみせるぞ、勇気を持って決めよう

- ③ さらに藩から御用金を納めるように言われたとき、五兵衛がきっぱりと「おまかせください。」と言ったのはどうしてでしょうか。

- ・自分の力で加賀藩を豊かにするという意志がかたまっていたから
- ・目標を持っていたから

◇ **自分との関わりで考える。**

- ④ 勇気を出して行動して、よかったと思うことはありますか。

- ・友達が仲間はずれになりそうなとき「やめよう」と言ったよ
- ・行ってはいけないところに誘われたけど、勇気をさして断ったよ

◇ **教師の説話を聞く。**

3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、錢屋五兵衛記念館の展示写真等を見せ、教材への関心を高めるとよい。
- ・教材文を読み聞かせる際に、北前船を手に入れたり大阪で修業したりするなどの五兵衛の仕事に励む姿勢を簡単に押さえておくとうい。
- ・②では、心情円盤等や役割演技を取り入れ、五兵衛の迷いやその理由、また決断とその理由についてじっくり考える。
- ・②では、勇気の意味を問いかけ、勇気と蛮勇の違いにも気付かせたい。
- ・③では、大きな負担であることを押さえ、切り返し発問等により、五兵衛の藩や加賀の人々を思う意志の強さだけでなく、商売に対する信念や誇りにも気付かせたい。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校中学年）「3 大商人の決断」

3 B案

教材名：大商人の決断	
主題名：勇気を持って行う	内容項目：A (5) 希望と勇気, 努力と強い意志

- 1 **ねらい** 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志を持ち、勇気を持って粘り強くやり抜こうとする態度を養う。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）
<p>◇ 映像資料「大商人の決断」を見て銭屋五兵衛について興味を持つ。</p> <p>① 銭屋五兵衛って知っていますか。（映像資料を視聴する。）</p> <ul style="list-style-type: none">・知らない・聞いたことがあるよ・北前船で加賀藩に富をもたらした商人なんだね <p>◇ 教材を読んで話し合う。</p> <p>② 五兵衛はどんな人だと思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none">・勇気がある人だよ・決断力がある人だよ・粘り強い人だよ・米の不作で困っている人たちを助けるからやさしい人だよ <p>③ どうして五兵衛は、船をゆずり、ご用金を出すことを決断できたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・加賀藩を豊かにしたいと願っていたからだよ・藩が借金で困っていて、自分の力で加賀の人々を救いたいと思ったからだよ・莫大なお金を出すことは心配だけど、代々の教えの通り勇気を出そうと思ったのではないかな・『物事が正しいかどうかは勇気を持って決めよ』という家訓があったから・藩や加賀の人々を助けることは正しいと信じて、勇気を出したから・うまくいくとは限らないけど、逆に商売に生かせるかもしれないと思ったから <p>④ 「勇気を出す」とは、どうすることでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の損得だけで考えるのではなく周りの人のことをよく考えて行動すること・自分でよく考え、本当に正しいと思ったことを行動にうつすこと <p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>⑤ 「わたしたちの道徳」P30を読み、自分の行動を振り返ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・友達が悪口を言っているのを注意できなかったし、一緒になって言ってしまった・危ないことをしようとしていたとき、「危ないからやめよう」と言えた <p>◇ 「わたしたちの道徳」P32「義を見てなさざるは勇なきなり」を全員で読む。</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・教材を読み聞かせる際、五兵衛の業績を簡単に板書に示し、②では、それらと関連づけながら児童の言葉を生かしてキーワードを示す。
- ・③では、五兵衛以外の商人が返事に窮するほどの大きな出費であったことを押さえ、それでも五兵衛が決断した理由を考えさせる。
- ・③では、グループ活動を設定してもよい。
- ・③では、勇気の意味を問いかけ、勇気と蛮勇の違いにも気付かせたい。
- ・⑤では、勇気を出して正しい判断ができたことやできなかったことについて振り返る。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校中学年）「3 大商人の決断」